

大腸癌研究会プロジェクト
『pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究』

- 研究 1 (日米共同) pT1 大腸癌における「内視鏡摘除後の追加治療の適応基準 (大腸癌治療ガイドライン)」の検証とリンパ節転移リスク算出 tool の作成
研究 2 (日英共同) pT1 大腸癌のリンパ節転移のリスク因子に関する研究 (Formula One Study)

第8回会議議事録

2020年1月23日

グランドプリンスホテル広島 2F 瀬戸内1

■出席者【50音順】

- 委員長 防衛医科大学校外科：上野 秀樹
- プロジェクトアドバイザー 兼国際共同研究の研究責任者：杉原 健一
- 委員：秋元直彦(欠席)、味岡洋一(代：杉野英明)、池松弘朗、石黒めぐみ、上野雅資(欠席)、浦岡俊夫、應田義雄(欠席)、岡志郎、奥山隆(欠席)、勝又健次(欠席)、金光幸秀、河内洋(欠席)、桑井寿雄(代：田丸弓弦)、小嶋基寛(欠席)、小林 望(欠席)、小林宏寿、小森康司(代：大内晶)、斎藤彰一、斎藤裕輔、斎藤豊、坂本一博、島崎英幸(欠席)、菅井有(欠席)、関根茂樹(欠席)、高松学、田中信治、鶴田修、富樫一智、内藤剛、永田信二、中村好宏(欠席)、野澤宏彰、藤盛孝博(欠席)、堀田欣一、松下弘雄、松田健司、山田一隆、山田真善、山野泰穂、梶原由規(事務局)、オブザーバー24名

■会議内容

1. 研究 1 (Nomogram study) の進捗状況の報告

(1) 最終解析結果案について

岡委員より T1 大腸癌症例の予後に関する解析結果が報告され、大腸癌治療ガイドラインで推奨されている T1 大腸癌に対する治療方針の妥当性が示された。

事務局より、4726 例を用いて作成された nomogram が紹介された。得られた結果について 2009 年以降の大腸癌登録症例を用いて validation を行う方針が決定された。

(2) 副次的解析について

リンパ節転移リスク解析に関する有効症例集積数順に参加施設で検討を進めることが再確認された。各施設にデータセットを配付し、上位施設から順に事務局から確認し、施設毎 2 週間を目処に希望する副次的解析内容を回答することとなった。

2. 研究 2 (F1 study) の進捗状況の報告

interobserver study 用に準備された 50 例 (本邦 25 例、英国 25 例) のデータセットの評価におけるデジタルスライドの技術的な問題が解決できたため、interobserver study を開始することが報告された。近日中に WEB 上での具体的な評価方法について事務局から担当の各病理系委員に案内することが連絡された。

3. その他

特になし。